



# 首都大学東京 大学院 社会科学研究科



## 経営学演習 「企業倫理論」 # 5

### § Holistic Management System §

—企業の不祥事/事故対応の不徹底から学ぶ—

—Holistic Management Systemの紹介—

2014年5月16日

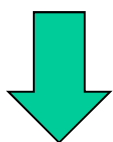
岡本 享二 (おかもと きょうじ)  
ブレーメン・コンサルティング(株)

# 本日の講義のポイント

- ・ 前回の授業で、JR北海道の不祥事多発、韓国セウォル号沈没事故などを事例にして企業倫理の所在を検証した。
- ・ 『不祥事を起こした社員(個人)⇒上司⇒企業トップ⇒企業体質⇒社会と時代⇒国や国際社会』へと、倫理の所在(矛先)がエスカレートしていく様子が伺えた。
- ・ また、事故や不祥事は『法令遵守違反、企業統治の欠如、危機管理の不徹底(未熟さ)』等、複合的な要因が重なって起きるケースが多いことが分かった。
- ・ 不祥事が起こるたびに、調査委員会の設置、ガバナンス・コンプライアンスの見直し、リスクマネジメントの確立が行われてきた。適切な処置が行われてきたように見えて、次々に起こる類似の不祥事は、いったいどうしたわけだろうか？
- ・ この原因は、「ガバナンス、コンプライアンス、リスク管理を実行するマネジメント・システムが適切に機能していない」ということを指摘したい。
- ・ それを解決するのが「ホリスティック・マネジメント・システム」という、統合的で、年を追って改善が進む、あらゆる因果関係を網羅したマネジメント手法である。
- ・ 国際的なグローバル企業はもちろん、官公庁などあらゆる組織に適用ができる。

# CSR施策実現への実務の要諦

- ・ 全員に徹底させる仕組み作りが必要！
- ・ 作っただけでは『絵に描いた餅』で機能しない！
- ・ 信賞必罰も必要かつ効果的



- ・ CSRのHolistic Management Systemが必須
- ・ CSRの本質を追究することが重要

# Discussion & Homework #5

- ・ 現在所属しておられる企業や組織のマネジメント・システムのあり方と、Holistic Management Systemの考え方の違いを感じたままに述べよ。
  - 各企業、組織ともに組織(図)はあるはずだ。
    - ・ 組織の各担当者の役割・責任・権限は明確だったか。
    - ・ それぞれの地位の役割・責任・権限は、だれからも明確に見えているか。
    - ・ それらの役割・責任・権限は、だれが決定し、起草し、定期的に見直し、アップデートが定期的に行われてきたか。
- ・ Homework(下記から好みのものを一点選んでPPTにまとめよ);
  - グローバルコンパクト原則:グローバル企業として尊重すべき普遍的原則
  - ISO26000: 社会的責任に関する国際ガイダンス規格
  - IIRC: 統合報告の枠組みを示したガイドライン
  - GRI: 持続可能性報告の枠組みを示したガイドライン
  - AA1000: 企業の説明責任を果たすためのプロセスを示したガイドライン